



TITLE:

濠太利の貿易と海運

AUTHOR(S):

小島, 昌太郎

---

CITATION:

小島, 昌太郎. 濠太利の貿易と海運. 經濟論叢 1920, 11(5): 687-693

ISSUE DATE:

1920-11

URL:

<https://doi.org/10.14989/127718>

RIGHT:

會學濟經學大國帝都京

卷一十第

## 論說

歴史と社會學との關係(一)……………法學博士 財部 靜治

地方税としての地租の課税標準……法學博士 神戸 正雄

限界的生産力の勞賃説……………法學博士 田島 錦治

農業社會主義的土地改良論者……………法學博士 河田 嗣郎

價值論上のリカルドとマルクス(二)――經濟學士堀經夫

## 時事問題

北支那の飢饉……………法學博士 戸田 海市

雜錄

豪太利の貿易と海運……………法學士 小島昌太郎

德川時代に於ける農本の意義……………法學士 本庄榮治郎

將來の産業的指導者としての日本の諸國……法學士 石川 興二

京都帝國大學經濟學會第二回講演會記事……法學士  
大森三郎

保險に關する新著紹介……………法學士 小島昌太郎

# 雜 錄

## 濠太利の貿易と海運

小島 昌太 郎

一 貿易 一 二 海運 一 三 關稅改正  
四 沿岸貿易禁止 一 五 海運官廳

### 一 貿 易

濠太利聯邦は國土全面積二、九七四、五八一平方哩を有し、全人口は、一九一一年の國勢調査の結果によれば四、四五五、〇〇五人であつて、百平方哩に對し一五〇人の割合である。産業は原始生産業及び農業が主要の地位を占め、製造工業は尙甚だ微弱なるものである。一九一七年に於ける主要産業の推定生産金額を示せば次の如し。

#### 一九一七年濠太利聯邦産業別生産金額

農 業	五七、九六七、〇〇〇
牧 畜 業	九三、三九五、〇〇〇
酪乳、家禽、養蜂業	三一、三二六、〇〇〇

雜 錄 濠太利の貿易と海運

林業及水産業	五、五二三、〇〇〇
鑛 山 業	二五、五九一、〇〇〇
製造工業	六九、八〇七、〇〇〇

されば濠太利は對外貿易に於いても、農産物、畜産物を輸出し、工業製造品を輸入するの地位にある。輸出品の主要なるものは、羊毛、小麥、麥粉、皮革及皮革製品、罐詰肉類、バター、鉛、牛肉、銅、銀等であつて、輸入品の主要なるものは、織物、金屬製品、被服、化學製品、紙、布袋、油類、機械、材木、罐詰用錫板、茶等である。而して貿易は過般の大戦中は輸入超過であつたが、戦後は輸出超過となつて居る。即ち次の通りである。

#### 濠太利の輸出入金額

年 次	輸 入	輸 出
一九一四*	三九、七七七、四九七	三七、九〇〇、〇〇七
一九一四—一五**	四〇、四三二、八三三	六〇、九三二、五八六
一九一五—一六	七三、三三二、四四三	七四、七六八、三三二
一九一六—一七	六八、三三六、六六九	九七、九五五、四〇二
一九一七—一八	六〇、八三二、一四三	七五、〇四三、三三三
一九一八—一九	九三、四八四、〇二〇	一〇六、八四〇、九五五

而して、濠太利對外貿易の主なる對手國と、

\* 自一月至六月

\*\* 以下六月三十日に至る一ケ年間

金額とは次の如くである。

一九一七—一八年度濠太利對外貿易國別表

	輸入	輸出
英吉利	三、四八、一七〇	三、七三、三八四
加奈陀	一、七六、三三〇	七、六三、二一〇
新爾蘭	一、三三、六三二	四、〇〇、六六〇
印度	四、四四、一七六	四、四四、一七六
錫蘭	一、四四、四四四	六、三三、一一一
南亞	一、七、三六六	一、〇九、四四〇
瓜哇	四〇、四四四	一、〇九、四四四
白耳義	一、四四四	—
佛蘭西	一、三六、三三三	一、三六、三三三
獨逸	二、二四四	—
北米合衆國	一、四、四四四	一〇、四四、四四四
日本	五、〇九、六六〇	四、四四、四四四
露西亞	—	四、四四、四四四
伊太利	三、三三、三三三	一、七六、三三三

上掲の二表によれば、濠太利の貿易は年々著しき發達をなしつゝありて、而して、その貿易關係の最も密接なる國は、やはり英吉利で、之に次いで北米合衆國、日本、他の英領諸國、瓜哇、伊太利、佛蘭西と云ふ順序である。

## 二 海 運

濠太利の對外貿易は右の如く發達しつゝあるに拘はらず、その海運は近來餘り大なる發達を示して居ない。先づその所屬船舶について見れば次の如くである。

濠太利の船舶統計

年次	帆船	汽船	合計
一九〇五	一、二六、九六〇	一、〇四、三三三	二、三一、二九三
一九一〇	一、二六、二二二	一、三三、六六六	二、五九、八八八
一九一四	一、二六、二二二	一、三三、六六六	二、五九、八八八
一九一五	一、二六、二二二	一、三三、六六六	二、五九、八八八
一九一六	一、二六、二二二	一、三三、六六六	二、五九、八八八
一九一七	一、二六、二二二	一、三三、六六六	二、五九、八八八
一九一八	一、二六、二二二	一、三三、六六六	二、五九、八八八

即ち今日に於いては、所屬船舶は、隻數に於いても噸數に於いても、大戦以前よりも寧ろ減少して居る。然らば、濠太利の諸港に出入する商船の増減は如何なる傾向にあるか。之も大戦以前よりは次第に減少の傾向にある。即ち左の如し。

濠太利港灣出入船統計(年次別)

年次	入	出	港	計
一九三*	三〇〇	一九七一	三九六五	一〇、七〇一、七六六
一九一四—一五	一、五八六	一、五八四	三、九一七	八、七〇五、八八八
一九一五—一六	一、五八四	一、五八〇	三、九〇四	八、七〇五、八八八
一九一六—一七	一、五八四	一、五八〇	三、九〇四	八、七〇五、八八八
一九一七—一八	一、五八四	一、五八〇	三、九〇四	八、七〇五、八八八
一九一八—一九	一、五八四	一、五八〇	三、九〇四	八、七〇五、八八八

而して一九一七—一八年度の統計によれば濠太利に出入する商船の中に、噸數上最も優勢の地位にあるは英吉利船であつて、濠太利船之に亞ぎ、その後は亞米利加船、佛蘭西船、日本船、新爾蘭船、和蘭船、諾威船の順序である。

濠太利港灣出入船統計(國籍別)

國籍	入	出
濠太利	三〇〇	一九七一
英吉利	一、五八六	一、五八四
新爾蘭	一、五八四	一、五八〇
佛蘭西	一、五八四	一、五八〇
北米合衆國	一、五八四	一、五八〇
諾威	一、五八四	一、五八〇
和蘭	一、五八四	一、五八〇
日本	一、五八四	一、五八〇

雜錄 濠太利の貿易と海運

此等外國貿易船の最も多く出入する港はシドニイ(Sydney)が第一であつて、其次はメルボルン(Melbourne)で、以下、ブリスベイン(Brisbane)、アデレイド(Adelaide)、アルバニイ(Albany)、フリマンドル(Fremantle)、ホーバート(Hobart)の順序である。

### 三 改正國稅法

濠太利の對外貿易と海運との情況は、大略右に述ぶるが如くである。而して戰後濠太利聯邦は産業の發達と海運の保護とに、大に意を用ゐる所あり、一九一九年、商工局(Commonwealth Bureau of Commerce and Industry)なるものを設け、國內天然資源の調査統括をなし、國內商業

\* 思ふに一九一四年六月三十日までを含むのであらう。

對外貿易の發達、商慣習の改良、新産業の開發等に對する政策の攻究をなさしむることとした。かくて本年(一九二〇年)三月二十四日、關稅改正案を議會に提出し、その一部は既に實施せられ、一部は目下細目制定中なりと傳へられて居る。改正關稅法の要旨は次の如くである。

一 英本國品に對して特惠的差別待遇を與ふる爲め、特惠關稅率(Preferential Tariff)を設け、之を一般外國品に課すべき一般稅率と區別すること、

二 濠太利品に特殊待遇を與ふる外國の製品に對しては、互惠的に適用すべき中間特定稅率を設けること、

三 將來濠太利聯邦内に成立し得べき新産業保護の目的を以て、此種産業の外國製品に適用すべき停止稅率(Deferred Schedule)なるものを設けること、

四 關稅收入増加の爲め、殆ど總ての課稅貨物に對する稅率を引上ぐること、

五 ダンピング防止の爲め聯邦内の公正なる消

費市價とダンピング價格との差額を輸入稅として賦課すること、

六 外國政府の補助金を受けて航海する船舶の積載商品に對し、總て五歩の附加輸入稅を課すること。

#### 四 沿岸貿易禁止

かくの如く、關稅率の改正によりて、聯邦内産業の保護開發を目論むと共に、更に沿岸貿易の禁止令を發布して、一定の條件を具へざる外國船の沿岸貿易を禁止することとなつた。この沿岸貿易禁止令は一九一二年に制定せられたる濠太利航海條例(Australian Navigation Act)の主要條項をなすものであるが、該航海條例は未だ實施をなすに至らざる中に、偶々世界大戰の勃發となりたるが爲め、當分其儘となり居たるものである。然るに大戰も既に終了して新航海條例を實施し得る時期に達したから、昨年先づ沿岸貿易に關する條項に多少の修正を加へ、本年七月一日より愈々之を實施することとなつたのである。この沿岸貿易禁止令の要旨は次の如く

である。

(一) 英吉利屬領地以外の政府より直接又は間接に補助金或は獎勵金 (Subsidy or bonus) を受け、又は或契約の下に之を受けんとし、若しくは本令の實施前一箇年以内まで之を受け居たる船舶は沿岸貿易に従事することが出来ない。(航海條例二八七・二)。但し船舶が郵便物、船客又は貨物を運送し、その實際の役務に對して市場賃率に従ひ支拂はれたる金額は補助金とは見做さない。(同・二)

(二) 沿岸貿易に従事せんとする船舶は、濠洲船たると、英吉利船たると、將た外國船たるとを問はず必ず特許を受けなければならぬ。(二八八・一) 沿岸貿易の特許期間は三箇年以内であつて、(同・二)、特許免狀は當該船舶が沿岸貿易に従事する期間中、該船舶が次の各條件を具ふることを要件として船長、船主及び船主代理者の請求により下附せられる。(同・三)。

(三) 沿岸貿易特許の條件は、イ該船舶乗組員 (Seamen) の賃銀は本條例の定むる所により支

給せらるべきこと、(ロ) 外國船にありては、その役員及び乗組員 (Officers and Seamen) の員數を彼等に對する船内設備とは、英吉利船にして濠洲に登錄したるもの又は濠洲沿岸貿易に従事するものと同様たるべきこと、(ハ) 濠洲に登錄したる船舶又は其沿岸貿易に従事する船舶にして、之に船客用文庫の設備あるときは、該船舶の乗組員及び見習員は、彼等に對する特別文庫の設備なき場合に限り、船客と同一條件にて右文庫の書籍を使用するを得しむること、の三つである。(二八八・三)

(四) 船舶乗組員に對する賃銀支拂に關する規定は二つありて、イ沿岸貿易の一部に従事する船舶に乘組む乗組員は、該船舶の沿岸航海期間に對し、同じ沿岸貿易航路に従事する乗組員の濠洲内市場賃率に基き、適法の割引を以て、其賃銀の支給を受けることを得べく、又訴訟を提起して該賃銀を回收することも出来る、(ロ) 又、濠洲以外に航行する船舶にありては、本條に定むる乗組員の賃銀は、該船舶が濠洲を離る





は之に對しては樂觀的見解を有せざることを發表して居る。我國の如く、海運業の發達が特に國民經營上重要視すべき國柄にありては、濠太利の海運官營が今後表はすべき成績について大に注意を忘ることを得ないであらう。(九・一〇・一六)